



胆管肝炎（胆管炎・胆管肝炎複合体）

■ 病気の概要

胆管（胆汁が流れる管）および肝臓に炎症が生じる病気です。猫に多く見られ、リンパ球性胆管炎（慢性型）と好中球性胆管炎（急性・細菌感染を伴う）の2種類があります。猫では脾炎・腸炎と同時に発症する「三臓器炎」を起こすことがあります。

■ 主な症状（飼い主さんが気づくサイン）

- ・ 食欲不振・体重減少
- ・ 嘔吐
- ・ 黄疸（白目・歯茎・皮膚が黄色くなる）
- ・ 元気消失・ぐったりしている
- ・ 多飲多尿（慢性の場合）

■ どんな検査をするの？

- ・ 血液検査（肝酵素・ビリルビン）
- ・ 腹部超音波検査
- ・ 肝臓針生検・病理検査（確定診断に重要）
- ・ 胆汁培養（細菌感染の評価）
- ・ 尿検査

■ 治療方法

内科治療	外科治療
・ 抗菌薬（細菌性胆管炎の場合） ・ 免疫抑制薬（リンパ球性胆管炎の場合） ・ 肝保護薬（ウルソデオキシコール酸）の内服 ・ 分岐鎖アミノ酸の補給を目的としたサプリメント（ヴェルキュアなど） ・ 点滴・栄養管理 ・ 三臓器炎の場合は膵炎・腸炎の同時管理	・ 胆嚢合併症に対する胆嚢摘出術

■ ご家庭で気をつけること

- ・ 肝臓に優しい療法食の継続
- ・ 定期的な血液検査（肝酵素のモニタリング）
- ・ 投薬の継続（長期的な管理が必要）

■ よくある質問

Q. 猫に多い病気ですか？

A. はい。猫の肝疾患の中で最も多い病気の一つです。

Q. 生検は必要ですか？

A. タイプによって治療法が全く異なるため、確定診断のために生検を強くお勧めしています。

Q. 完治しますか？

A. リンパ球性は長期的な管理が必要ですが、多くは良好にコントロールできます。細菌性は抗菌薬で改善することがあります。

Q. 「三臓器炎」とは？

A. 猫の胆管肝炎・膵炎・腸炎が同時に起こる状態です。それぞれの同時評価・治療が重要です。

■ なつ動物病院での診療について

肝臓針生検による確定診断と、原因に応じた内科治療を行います。猫の黄疸・食欲不振はお早めにご相談ください。

なつ動物病院 気になることがあれば、予約外でもお気軽にご来院ください